



学校だより



凛として挑む

~未来永笑をめざし「自らを律する力」と「自ら学ぶ力」を
共に育む 山階南~

令和6年3月15日

京都市立山階南小学校 校長 林 正和

Tel:592-2849 Fax:592-2851

E-mail:sankaiminami-s@edu.city.kyoto.jp

保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のことだと思います。平素は本校教育にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、12月に行いました「子どもたちの生活をよりよいものにするための自己評価」を通して、「保護者」「児童」「教職員」それぞれの立場で自分自身を振り返る契機とさせていただきました。ご協力ありがとうございました。

今年度は、「凛として 挑む」の後に続く副題を~未来永笑をめざし 「自ら律する力」と「自ら学ぶ力を」共に育む 山階南~と変更しております。今年度大切にしたい「自らを律する力」「自ら学ぶ力」という視点、また「めざす子ども像」の4つの視点で分析・考察しました。その結果をもとに現状を把握し、今後の学校の取組に生かしてまいります。

【アンケート全項目結果】

【児童】	後期				前期			
	そう思う	だいたい そう思う	あまり そう思わない	そう思わない	そう思う	だいたい そう思う	あまり そう思わない	そう思わない
(1～2ねんせい) じゅぎょうを とおして タブレットや パソコンのつかいかたが わかってきている。	62%	30%	5%	3%	66%	26%	5%	3%
(1～2ねんせい) きまりを まもって タブレットや パソコンを つかうことが できている。	67%	28%	4%	2%	69%	22%	8%	2%
(3～6年生) 多くのじゅぎょうで、タブレットやパソコンを つかっている。	59%	34%	7%	0%	41%	45%	11%	4%
(3～6年生) かていい学習で、タブレットやパソコンを かつようしている。	40%	28%	20%	12%	34%	26%	24%	16%
(3～6年生) きまりを まもって タブレットやパソコンを つかうことができている。	53%	33%	11%	3%	59%	30%	7%	3%
自分から すすんであいさつが できている。	38%	35%	20%	7%	48%	31%	16%	5%
こまったことがあれば、先生に そだんしている。	30%	36%	24%	10%	30%	37%	22%	11%
自分の よいところが いえる。	25%	33%	25%	16%	28%	32%	25%	15%
ともだちを たいせつにし、なかよくしている。	71%	24%	3%	1%	68%	27%	4%	1%
わすれもののがなく、学習のじゅんびが できている。	28%	48%	17%	7%	35%	46%	14%	5%
かかりや そうじ・きゅうしょくどうばんの しごとを、さい ごまで できている。	54%	35%	8%	3%	61%	30%	7%	2%
つかったどうぐや ぱしょを ていねいに かたづけてい る。	46%	38%	11%	4%	48%	38%	11%	4%
じゅぎょうが たのしく よくわかる。	42%	40%	12%	5%	47%	38%	11%	4%
じゅぎょう中、人の話を さいごまで しっかり きいて いる。	41%	44%	11%	4%	46%	43%	9%	3%
じゅぎょう中、自分からすんで、学習している。	38%	42%	14%	6%	45%	35%	16%	4%
かていい学習や しゅくだいを 自分から すすんで し て いる。	45%	35%	11%	8%	51%	33%	12%	4%
本を よく読んでいる。	36%	25%	17%	22%	41%	24%	18%	17%
山階南のちいきのことが すきである。	59%	28%	8%	4%	64%	24%	8%	4%

【保護者】	後期				前期			
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない
お子さんが自分から進んで挨拶をするように、家でも挨拶をしている。	27%	61%	12%	0%	27%	59%	14%	0%
お子さんが困ったときには、先生に相談するように言っている。	23%	67%	8%	2%	28%	61%	11%	0%
お子さんのよさを認め、ほめるようにしている。	26%	61%	12%	0%	22%	65%	12%	0%
お子さんに、友達を大切にし、仲良くするように働きかけている。	42%	56%	2%	0%	37%	59%	4%	0%
お子さんに、忘れ物なく学習準備する習慣が定着するように働きかけている。	18%	61%	20%	0%	28%	57%	15%	0%
わが家では、お子さんが掃除や後片付けの習慣がつくようには役割を決めている。	7%	41%	45%	8%	11%	31%	51%	7%
お子さんが片付けができるよう働きかけている。	8%	60%	31%	2%	13%	53%	33%	2%
お子さんは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。	15%	59%	24%	2%	19%	55%	22%	4%
お子さんに、人の話をしっかり聞くよう働きかけている。	18%	70%	11%	2%	23%	65%	12%	0%
お子さんに、授業中、進んで学習するよう励ましている。	17%	57%	26%	1%	15%	58%	26%	1%
お子さんに、宿題などの家庭学習の習慣が身に付くよう働きかけている。	26%	54%	20%	1%	28%	57%	15%	1%
お子さんに、本をよく読むようにすすめている。	14%	27%	48%	11%	13%	31%	42%	15%
家庭や地域等で、山階南の地域の良いところを話したり、ふれあったりする機会をもっている。	2%	35%	51%	12%	3%	19%	61%	17%
学校は、タブレットやパソコンを使った授業に力を入れている。	27%	64%	8%	0%	22%	55%	20%	3%
お子さんは、家庭でタブレットやパソコンを活用して学習している。	22%	39%	23%	15%	19%	32%	33%	16%
お子さんは、家のきまりを守り、タブレットやパソコンを使っている。	14%	49%	25%	12%	16%	43%	30%	11%
学校はホームページや学校だより、学級だよりなどで子どもたちや学習の様子を伝えている。	20%	66%	11%	3%	21%	63%	13%	2%
教職員は、一人ひとりの子どもを大切にし、子どもからの相談に親身に対応している。	20%	63%	15%	2%	22%	65%	11%	1%
授業や活動の中で、子どもが活躍できる場や認められる場がある。	27%	61%	8%	2%	18%	71%	11%	0%

【教職員】	後期				前期			
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない
児童が自分から進んで挨拶ができるように教職員自ら挨拶している。	38%	57%	5%	0%	41%	53%	6%	0%
児童に寄り添い、思いを傾聴している。	24%	66%	10%	0%	31%	69%	0%	0%
児童のよさを積極的に見つけ、認め、ほめている。	24%	68%	5%	2%	25%	69%	6%	0%
児童が友達を大切に、仲良くできる学級づくりに取り組んでいる。	33%	64%	3%	0%	6%	81%	13%	0%
児童に忘れ物なく学習準備する習慣が定着するよう働きかけている。	32%	51%	11%	5%	6%	69%	25%	0%
児童が係や当番の仕事を最後までできるように働きかけている。	41%	51%	8%	0%	13%	69%	19%	0%
児童に片付けができるよう働きかけている。	30%	63%	8%	0%	0%	94%	6%	0%
児童が楽しくよくわかるよう学習課題・めあてとまとめ・振り返りを行っている。	18%	77%	5%	0%	6%	75%	19%	0%
児童が授業中、人の話を最後までしっかり聞くよう働きかけている。	28%	72%	0%	0%	13%	69%	19%	0%
児童が授業中、進んで学習するよう働きかけている。	23%	67%	10%	0%	19%	75%	6%	0%
児童に家庭学習の習慣が定着するように働きかけている。	23%	66%	11%	0%	13%	53%	33%	0%
児童に読書の習慣が定着するように働きかけている。	32%	32%	29%	6%	19%	38%	31%	13%
山階南地域の良さを学べるような教材・単元づくりをしている。	17%	49%	29%	6%	0%	44%	38%	19%
多くの授業で、タブレットやパソコンを使った授業をしようとしている。	44%	39%	17%	0%	31%	50%	19%	0%
家庭学習で、タブレットやパソコンを活用するような働きかけをしている。	34%	43%	17%	6%	0%	47%	27%	27%
児童がタブレットやパソコンのルールを守れるように、指導している。	39%	50%	11%	0%	0%	88%	13%	0%
各部や係、学年の中で無駄を無くし効率的に仕事を進めようとしている。	22%	73%	5%	0%	6%	75%	13%	6%

自らを律する力

«質問番号»

【児童】

2、4、5

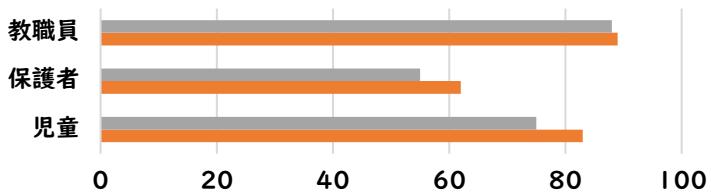
【保護者】

15、16

【教職員】

16

自らを律する力について



	児童	保護者	教職員
■前期	75	55	88
■後期	83	62	89

学校教育目標の副題の一つとなっている「自ら律する力」に関する項目です。主に GIGA 端末の活用について、児童質問番号2や5の前期結果と比べても、1～2年生はきまりを守って扱う意識が高まってきています。その反面、高学年になると活用場面も増えたこともあります、気軽に使えるからこそ「ちょっとならいいや」といったようにルールを守りにくくなっている子もいます。しかし、前期の結果と比べてみると児童、保護者共に「ルールを守れるようになってきた」と回答している割合が増えました。学校での継続的な指導はありますが、各ご家庭でのお話いただいていることも大いに影響していることだと思います。

学校での取り組みが進んでいくことで、家庭学習など家での活用回数も増えていると保護者のアンケート結果からもうかがえます。活用回数が増えるからこそ、ご家庭でも話ををしていただいているのだと思います。学校でも家庭でも一緒に使い方について話ができれば子どもたちにとってより良いものとなっていくと思うので、引き続きよろしくお願ひします。

今回のアンケート結果だけではなく、学校生活全体においても同様のことがあると思います。子どもたち一人ひとりが自らを律する力を高めていくためにも、継続的な指導はもちろん、その都度考え方、振り返りながら物事に取り組んでいき、たくさんの経験や学びの中で大きく成長してほしいと思います。

自ら学ぶ力

«質問番号»

【児童】

14、15、16

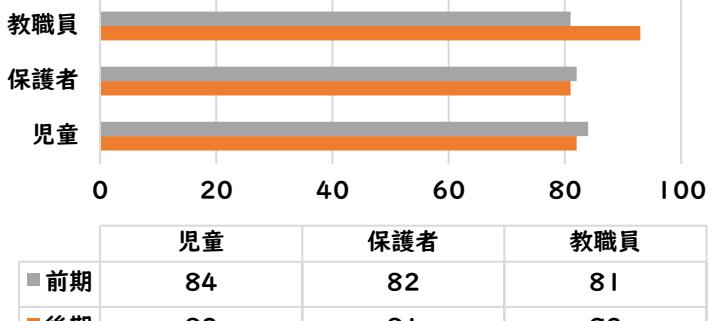
【保護者】

9、10、11

【教職員】

9、10、11

自ら学ぶ力について



学校教育目標の副題の二つ目となっている「自ら学ぶ力」に関する項目です。児童・保護者共に授業や学習のことについて前期と比べるとあまり変わらずではありました。年度当初からある程度進んで学習に取り組んだり、促したりすることができていると考えられると思います。また教職員は10%ほど向上しているのも、年度当初からの継続した取組と徐々に子どもたち自身が自ら進んで学習に取り組めるような指導方法についても取り入れてきていることが考えられます。

これらのことからも、1年間継続して取り組んできたことが一定効果を得たと考えています。与えられたものだけでなく、自ら考え、取り組んでいくためにも人の話をしっかり聞こうとしたり、進んで学習に取り組もうとしたりすることができます。しかしその反面、計画的に取り組もうとすることへの難しさを感じていたり、学習することに課題を感じたりしている子もいると思います。その子達も含めて安心して学習に取り組もうとすることができるよう、これからも努めていきたいと思います。

また、学校での学習スタイルも一人一台の端末によって変化してきています。引き続き保護者の皆様にも、学習のスタイルや家庭学習においての取り組み方など、ご理解いただきながら子どもたちにとってより良い方法について考えていただきたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひします。

優しくできる子

«質問番号»

【児童】

6、8、9、12、14、18

【保護者】

1、3、4、9、13、18、19

【教職員】

1、2、3、4、9、13

優しくできる子について

教職員

保護者

児童

0 20 40 60 80 100

	児童	保護者	教職員
■前期	90	59	88
■後期	80	81	90

めざす子ども像「優しくできる子」に関する項目です。子ども同士のつながりについて、児童質問番号9では、前期と変わらず友達を大切にし、仲良くしていると回答しているが、それ以外の項目については、前期より下回っています。初めこそ意識して取り組もうとしていることもたくさんあったかと思いますが、時間の経過とともに様々な面で難になってきているところがあるのではないかと思います。教職員としては、継続的に指導は行っていますが、児童の結果から見ても、効果が薄まっているかと思います。

保護者質問番号13での結果のように、地域の取組が増えたこともあります、地域の良さを話し合ったり実際に触れ合ったりする機会も増えたようです。また学校での学習と地域の取組がリンクしながら行えることで、より効果的な場面もあったと思います。しかし質問番号18の「教職員は、一人ひとりの子どもを大切にし、子どもからの相談に親身に対応している。」という項目は、前期に比べると少し下がっています。この結果は、教職員としてしっかりと受け止めていきたいと思います。子どもたちにとって、また保護者の皆さんにとって相談しやすく、子どもたちが安心して過ごせる場所になるよう、これからも努めていきたいと思います。

考え、正しく判断する子

«質問番号»

【児童】

2、4、5、7、9、11

【保護者】

2、4、6、16

【教職員】

3、4、6、11、16

考え、正しく判断する子について

教職員

保護者

児童

0 20 40 60 80 100

	児童	保護者	教職員
■前期	82	72	83
■後期	83	75	92

めざす子ども像「考え、正しく判断する子」に関する項目です。関連質問番号の結果を見ると、前期よりも児童、保護者、教職員共に向かっていることがわかります。項目ごとに確認すると前後することはありますが、考え方の基となることを学び、正しく判断しようとされていることがわかります。しかし、考え方と行動が伴いにくいこともあります、アンケート結果においても、「きまりをまもること」については前期より下回っていました。

例えば廊下を歩いたり、安全に気を付けて行動したりするなど、安全面のことを一緒に考えてみると、休み時間や体育の時間等でのけがが多く、病院へ行くケースもありました。これらのことから踏まえるとさらに考えたことや知っていることと行動が伴えるように、一度立ち止まってから行動できるようにこれからも指導していきたいと思います。

また、指導する立場だからこそ、教職員も子どもたちの見本となるように心がけ、誰にとっても安心できる学校生活となるように考え方、正しく判断し、行動できる人を目指して進んでいきたいと思います。そのためにも保護者の皆様におかれましても、引き続きご協力いただけると幸いです。

粘り強く挑戦する子

«質問番号»

【児童】

4、7、13、14、15、16、17

【保護者】

2、8、9、10、11、12、13、15、18

【教職員】

2、3、4、8、9、10、12、13、14、1

粘り強く挑戦する子について

教職員

保護者

児童

0 20 40 60 80 100

	児童	保護者	教職員
■前期	76	70	61
■後期	75	70	85

めざす子ども像「粘り強く挑戦する子」に関する項目です。前期の結果と比べると教職員の結果が大きく上がりました。その背景には、校内研修を行うなど、授業の進め方や子どもたちに寄り添う時間（スマイルワークなど）の確保について取組を進めてきたことが考えられます。また「自ら学ぶ力」のところでも述べたように、わからないことや問題に対して自ら調べたり、計画的に学習を進めようとしたり粘り強く取り組もうとする姿勢も見られるようになってきました。

しかし、児童質問番号13や保護者質問番号8のように、授業を楽しくわかりやすいものへと教職員が意識して取り組んできたことが前期と比べても子どもたちや保護者にとってあまり届いていないことがあると考えています。

子どもたちにとって、何がよくどのように進めていくのがよいかこれからも考えていきたいと思いますが、それだけではなく、実際に子どもたちに届く内容であったり、保護者の方々に理解してもらえるようしっかりと発信したりしていくようにしていきたいと思います。

笑顔で元気な子

«質問番号»

【児童】

6、7、8、9、12、13、14

【保護者】

1、2、3、4、8、9、17、18、19

【教職員】

2、3、4、8、9

笑顔で元気な子について

教職員

保護者

児童

0 20 40 60 80 100

	児童	保護者	教職員
■前期	80	87	89
■後期	78	87	85

めざす子ども像「笑顔で元気な子」に関する項目です。児童の結果を見てみると前期に比べると少しづつどの項目も少し下がっていることがわかります。特に質問番号6、7、8では自分の良いところを言える子が半数ほどしかおらず、進んであいさつできる子も7割程度と自己肯定感が低く、自分に自信をもって相手と接することに関して課題があるように思います。ただし、質問番号9のように友達とは仲良くしているほとんどの子が答えていることからも、仲良くは過ごせているがちょっとしたことから心配なことや悩み事へつながっているようにも思います。また、困っていることがあっても先生に相談できないと答えている子が前期同様の人数がいることは、教職員としても課題を考えています。保護者質問番号2のように保護者からは、困ったら先生に相談するように促してもらっているが、実際子どもたちは難しいと感じているようです。さらに質問番号18「子どもたち一人ひとりを大切にし、子どもからの相談に親身に対応している。」という問い合わせの結果からも、前期に比べるとできていないと回答している割合が増えました。

これからも子どもたちにできる限り寄り添い、安心して相談できる関係を作っていくよう努めていきたいと思います。

【自由記述欄の内容について】

学校教育目標等、学校の取組について

学習の進め方について、多数ご意見をいただきました。特にGIGA端末の使い方について、うまく活用することで、より意欲的に学習に臨める反面、家でもyoutube等を見たり、宿題の様子を家で確認しにくくなっていたりするなど、メリットデメリットがあります。また、教員の子どもたちへの働きかけや学校生活について不安を感じておられる方もいらっしゃいます。これらのことからも、学習の進め方や学校生活について、子どもはもちろん保護者の皆様におかれましても、安心して過ごせる、または送り出せる学校を目指して保護者と教職員が協力して進めていけるようにしていきたいと思います。

スポーツフェスティバルについて

スポーツフェスティバルについては、コロナ禍も明け、昨年度からもさらに変更しながら行いました。実施方法についても、前後半に分けたことや高学年の係活動等でのがんばりなどよかったですと書いていただいた方もいました。また、その反面全体的に物足りなさを感じていたり、徒競走などゴール付近でカードを渡す子どもたちによって写真等取りにくかったと少し配慮が足りなかつたりと感じることがあったようです。さらに山科中学校の合唱コンクールの日と重なってしまうなど、保護者の方々にご迷惑をおかけしたこともありました。

コロナ禍も明け、昔の運動会のようにと思われている保護者の方も多いと思いますが、時代の流れとともに実施方法につきましても変更を余儀なくしていることもあります。ただし、ご意見にもあるように、子どもたちにとって良い経験となるよう検討は重ねていきたいと思います。特に満足感や充実感の味わえるものを意識しながら、安全面にも配慮し取り組んでいきたいと思います。

学習発表会について

1年生の保護者の多くは、昔行っていた学芸会をイメージされていた方も多いかったです。スポーツフェスティバル同様物足りなさを感じている回答がありました。学習発表会は、学習してきたことを保護者の皆さんにも見ていただくために、発表する場として位置付けています。そのため、各学年での学習内容によっては、発表の形式や方法が変わってきます。今年度は、学年ごとの実施となり、学年によって差を感じられる事もあったかと思います。それでも子どもたちの充実感や満足感を感じてもらえたり、日々の学習内容について知っていただけたり、良い時間となったことも多かったと思います。

スポーツフェスティバル同様、これからも子どもたちにとって満足感や充実感を味わえたり、目標に向けて学年・学級としての高め合える仲間づくりになったりと大きな行事としてこれからも考えていきたいと思います。

学校行事について

スポーツフェスティバルや学習発表会、授業参観などコロナ禍が明け、保護者の参加もしやすくなり、学校生活の様子を見ていただく機会が増えたことにうれしく思うと回答がありました。またその反面、久しぶりにお会いになる保護者同士もおられるようで、授業参観中の保護者同士の私語が気になるというご意見もありました。子どもたちのがんばりにご配慮いただきながら、今後とも多数のご参加を心よりお待ちしております。また、学校としても、中学校との日程が重なってしまうことや年間の実施計画など、見通しの甘さや配慮に欠けるところがあり、ご迷惑をおかけしました。本当に申し訳ありません。

今後とも子どもたちを中心に置き、保護者・地域・学校が連携を取りながら様々な取組を進めていきたいと思います。

【学校運営協議会 理事会の話し合いから】

GIGA 端末の活用が進むにつれて、子どもたちのスキルアップは目を見張るものがある。ただしその反面、決まりやルールが守りづらくなったり、対面でのコミュニケーションが乏しくなったりとメリットとデメリットが出てきていると思う。また困ったことがあれば、先生へ相談できると回答している子が少ないので心配である。またコロナ禍が明けて、地域行事や学校行事の取り組み方など試行錯誤していくことが必要となる。取り組み方の違いについて、情報を発信しながら、保護者地域共に理解してもらえるように努めていくことが必要だと思う。

特に GIGA 端末の活用などデジタルの良さとアナログの良さなど、うまく使い分けられるように指導してもらいたいながら、時代の流れの中でどのように活用していくのか今後とも検討していってほしいと思う。

さらに、学校での学習の中で地域との交流を深めるなど、関係を深めていけたらと思う。